

# ハンセン病を伝える講談 『風の鳴る丘』

第二次世界大戦後、アメリカ合衆国の統治下に入った沖縄では、本土とは異なり、ハンセン病患者の中でも回復が確認された人々は療養所を出て社会へと戻る方向へと動いていった。

本土では一生隔離を前提とされていたことをふまえると一見良策に見えるが、実は社会へと戻されていたことによって、新たな差別と悲劇が生まれた。

「あの子の母親はハンセン病患者。」

「あの人の夫はハンセン病患者。」

ハンセン病をもはや知らない世代も多くなった現代。

折しも、二〇二〇年。新型コロナウイルスによる社会混乱が生まれた。それは正に、当時のハンセン病が出た社会混乱と同じものだったのだ。

今こそ知っておいてほしいメッセージがここにある。

「人の心の傷は、  
人の心でしか癒されない。」

# 入場無料

【講師】 上方講師／真打

## 旭堂南舟

三月一日（土） 会場・エルモ西淀川

十二時三十分開場／十三時開演

事前予約優先（全席自由席）

※当日空席があれば事前予約無しでも入場可

### 事前予約方法

① メールで予約

harukanayumewo@gmail.com

※本文にお名前・確保希望席数を記載

② 公式サイトフォームから予約

www.kazenonaruoka.net/events2025

↓QRコードからアクセスする場合



③ 電話で予約（風の鳴る丘事務局）

（つながらない場合は折り返しお電話いたします。おかけ間違いのないようにお気を付けてください。）

080-3762-1013

主催：ハンセン病を伝える舞台プロジェクト「風の鳴る丘」事務局